

委員会 通信

第15回

病院運営特別委員会

病院運営特別委員会委員紹介

委員長	伊藤 信也	副委員長	土井 清司
委員	椎名 義光	委員	小川 藤男
委員	鎌形 榮一	委員	飯田 良助



医師の確保が待たれる多古中央病院

多古中央病院を 存続させるため、 頑張ります!!

国保多古中央病院は患者数（外来、入院ともに）が減少しています。この背景には、『医師不足』があります。以前は、

内科医4名、外科医3名であったのが、内科医3名（平成20年4月から）、外科医2名（平成20年10月から）となり、思うように診療ができなくなっているのが現状です。

小久保院長からも「病院の経営は大変厳しい状況にある。医師不足と患者数の減少により財政が悪化して診療を中止している病院もある。」とお話がありました。

病院の経営を健全にするには、医師の確保が必要です。そのため、院長や町長はあらゆる努力をされてきたことと思います。

しかし、少しずつですが多古中央病院にも明るい光が差し込んできました。この4月より1名増えた内科医師の専門は皮膚科です。病院側でもその専門性を生かし、10月1日から水曜日と金曜日に皮膚



病院運営特別委員会のメンバー

科外来を始めました。多古中央病院にとって、そして何よりも受診される町民の皆さんにとって喜ばしいことではないでしょうか。

この多古町から病院が無くなることが無いよう、病院運営特別委員会もしっかりと支えていきたいと思っています。

多古町議会には、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会あわせて8つの委員会があります。このコーナーでは各委員会の活動の様子をお伝えしています。

編集 後記

議会だより第50号をお届けします。9月定例会は決算を認定する議会です。当初予算が適正に執行されたかはもとより、そこにどれだけの行政効果があったのかを評価する重要な議会です。審査の結果は、後年の予算編成や予算執行に充分活かされることになるからです。またこの議会を通じて町民の皆様に、町の財政の実態をお知らせする事により、町の現状への理解が深まれば、それは大変意義のある事だと思っています。◆議会だよりでは、行われた審議の内容を、「誰もが分かり易く確実に」お伝えしたいと常に心掛けており、まず手にとって頂ける紙面に、と腐心しています。しかし文章では、なかなか伝えきれない部分がある事も確かです。是非一度、議場にお出掛けいただいて、白熱した議論を傍聴していただければと思います。

議会広報特別委員会

委員 土井秀敏



12月は定例議会が開かれます。ぜひ、傍聴にお出かけください。日程・内容など詳しくは多古町ホームページが議会事務局まで。